

「だから長大病院を
選びました!!!」

キャリアの軌跡

第44号

2014年7月7日 長崎大学病院
医療教育開発センター発行

研修1年目の先生方に「長大病院の
ココがオススメ」な点を聞きました!!!

外来研修は学びの宝庫♪

指導医と一緒に地域病院で診療する外来研修は勉強になります。長大病院での診療と違い、自分が責任もって診断して、アセスメントまでできるという点で鍛えられますね。コミュニケーション力も付きますよ。

指導体制はバツグンです!!!

診療科では指導医が一心同体になって指導してくださり、手技など一から丁寧に教えてくださいました。また、メンター制度やセンター専属指導医のサポートもあり、安心して研修に打ち込めています。

おいしい!!!



長崎大学出身
加納 碧 先生

←上五島病院の外来研修の後は五島うどんの地獄炊きを満喫♪ そんなご褒美も楽しみな外来研修です。

金沢医科大学出身
池永 仁 先生

↓池永先生がセンター指導医の面接を受けている様子。研修の進み具合から日々の悩みまで丁寧なアドバイスを受けられます。



フムフム

救急医療教育室が面白い★

長大病院には救急医療教育室というシステムがあり、市中病院で救急外来を経験することができます。大学病院での研修と違い、診断がついていない患者さんに遭遇できたので、とても勉強になりました。

がんばるぞ!!!

→今年の冬、アフリカのマラウイ共和国へ研究に行く予定の池田先生。医療教育開発センターも全力バックアップします。



研修プログラムが多彩です!

私は「アフリカで医療活動する」という夢があり、大学院にも席を置きたかったのでアカデミックコースを選択しました。研修中でも研究へのモチベーションを保てるのがいいですね。また、3つの病院を回るトライアングルコースでもあり、今後はへき地医療も経験する予定です。

藤田保健衛生大学出身
中山 宗郎 先生

→救急医療教育室で縫合を経験した中山先生。

一晩で18台の救急車が来て、たくさんの手技を経験させてもらいました



長崎大学出身
池田 恵理子 先生

外来研修でプライマリ症例をとことん!!!

研修医が指導医と一緒に市中病院へ行き、指導医のフォローの元、約3時間、外来を受け持ちます。4~5人の患者さんを診療した後、症例検討、外来のノウハウ等について指導医からのフィードバックがあります。「時間の制約がある中での確かな診療が求められ、長大病院とは違う経験ができました」「毎週行きたい!」などなど、研修医からもたいへん好評です。



←上五島病院への外来研修の交通手段はヘリコプター。25分のフライトも楽しみのひとつです。



←医療教育開発センター専属指導医の小畑陽子先生。

いろいろな症状で来院する患者さんに、限られた時間でどうアプローチするのか。外来研修ならではの経験ができます。

指導医の強力サポートで効率よく目標達成

長大病院には、目標達成を3方向からサポートする強力な指導体制ができています。

- ①各診療科に厚生労働省認定指導医講習会を受講した熱い指導医がいます。
- ②メンタル面を支えるメンター(仕事やキャリア形成において手本となり、助言や指導をしてくれる先輩医師)が日々の相談にのります。
- ③研修医教育専属部署に8人の選任指導医がいて、進捗状況の確認などのフォローをします。

→研修医と研修のメンター。日々を支えてくれる



長大生にとって、クリクラやポリクリでお馴染みの指導医が多いことも安心。



↑各診療科の指導医は、普段の指導に加え、フィードバックシートでのやりとりなど細やかな医療教育をしてくれます。←毎年行われている指導医講習会。研修医が学びやすい雰囲気の作り方や、悩んでいる研修医への対応の仕方など、みっちり6日間学んでいます。

初期～二次救急症例を学べる長谷道場

今年度から始動した新プロジェクト「救急医療教育室」は、初期・二次救急症例を指導する研修医のための専門部署です。救急専門医(長谷敦子先生と山下和範先生)が地域の病院へ研修医と共に勤務して、マンツーマン指導します。勤務先は済生会長崎病院と長崎記念病院。救急車が連なることもある環境下で、スピーディかつ丁寧な対応が求められます。初期診療の肝を学べる、大変貴重な機会です。

↓済生会長崎病院の医療スタッフが指導してくれるのも大きな魅力のひとつです。



充実度、満足度の高い研修の現場が長崎にあります!!!



↑救急医療教育室の室長を勤める長谷敦子 教授

まずは、あなたの夢を聞かせてください! 全力でサポートします

多彩なコースであなたにあったプログラムを実現

さまざまなコースを設けており、個々の研修医の希望に応じられる体制を整えています。また、研修中でも1カ月前までの申請で研修科の変更が可能で、多くの先生が変更しています。

人気のたすきがけ研修プログラムをはじめ、早い段階からスペシャリストを目指すコースや大学院で学位がとれる「アカデミックコース」、3つ以上の病院を回る「トライアングルコース」など、必ずあなたに合ったコースがあります!!!



←研修の進捗についてはいつでも指導医に相談できます。



↑医療教育開発センター長の浜田久之教授。
←たすきがけ先の病院での研修風景。県内外、24の協力病院があり、ほとんどの研修医が第一志望の病院で研修しています。